



公務員試驗

合格方法確立講義

法島講師

合格講座

合格方法確立講義レジュメ 公務員試験合格へ向けて・・・

ポイント1 やみくもに勉強は始める 目標：今から カ月以内(月 日)

◎失敗からの学び／1年目と2年目の違い

1. 過去問の繰り返しを増やした 理由：

- ・数的処理 回転
- ・経済原論 回転
- ・憲法・民法・行政法 回転
- ・その他の科目 回転

ポイント2 短期合格メソッドがわかったら、合格体験記を読みあさる

2. 「できる問題」「できない問題」

力を入れるのは： 理由：

○過去問で始まり、過去問で終わる

7割：

3割：

○体験記で始まり体験記で終わる：いつ読むの？：

こういう試験
こういう科目
こういう勉強
こういう模試
こういう面接

3. 捨て科目を作らない 理由：

捨て科目を作った場合の合格者と不合格者の違い：

◎3つの心がけ

①

◎3つの大事

①

②

②

③

③

◎バーチャル体験記を書いてみる：いつ書くの？：

1. きっかけ
2. スタートライン
3. 勉強
4. 面接
5. 後輩へのメッセージ

ポイント3 併願プランを考える

1. 第一志望を決める：いつまでに：

第一志望は変わってOK

割対策は同じ

*決め方

「過去の経験」「大きさ」「場所」・・・などからすぐに決めましょう！

2. 併願先

できる限り多く・・・その理由：①_____ ②_____

併願先を見つける方法：①_____ ②_____

3. EYEがすすめる公益法人とは・・・

ポイント4 教養と専門の時間投入バランスを考える

目標：週_____ 時間

授業

復習

過去問

暗記

質問

体力（公安職）

教養 30 %

2つの理由

1.

2.

専門 70 %

2つの理由

1.

2.

*時間を作る努力工夫

・早起き 60分：いつから_____

・細切れ10分：いつから_____

・場所を決めよう（EYE、学校（職場）、家・・・）

ポイント5 最初の1ヶ月は何かから始めるのか何をやってはならないのか

✗ 1科目集中（やってはいけない）

✓ 生講義、DVD 視聴開始日程をベースに受講

数的処理 入門講義数的1回→基礎判断推理3回→基礎数的推理3回
→判断推理4回→数的推理6回→図形3回→資料解釈2回

経済系 入門講義経済1回→教養経済（社会科学）4回
→ミクロ経済9回→マクロ経済9回

法律系 入門講義法律1回→教養政治・法律（社会科学）4回→憲法8回

*開講日以降に入校した方は、各校舎の担任が無理なく追いつけるようにスケジュールを作成しますので、安心してください。

◎さらに並行して取り組むこと

・世界史 *苦手な方のみスタート！

・時事
ニュース 一日1回 15~30分

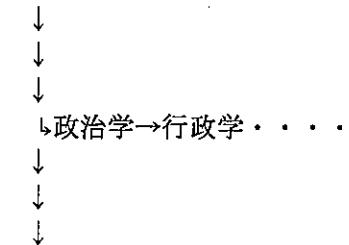
新聞 → 社説 → まとめる

参考書 「速攻の時事」

・文章理解

ポイント6 隣接科目は一気に仕上げよ

憲法 → 民法 → 行政法



憲法論文 ※この講義実施後に、裁判所より裁判所職員一般職の憲法論文を課さなくなるとの発表がありました。よって、裁判所職員一般職を受験の方は憲法論文の対策をする必要はありません。

ポイント7 ワンディスケジュール

今のワンディスケジュール

・朝型人間

・一日の流れ

*修正タイム

ポイント8 数的処理は始め全問やらない

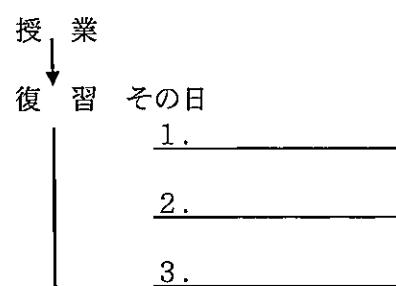
教養択一 48問→40問選択

特別区

専門択一 55問→40問選択

論文

学習の流れ



過去問 (ダーウィン)

得意科目 : _____ 苦手科目 : _____

5分考える → 解ける → 10分以内に解く

→ 解けない → 10分以内に解説を理解する

※重要

1. _____
2. _____
3. _____

質問 1冊の弱点ファイルを作成

ポイント9 今から受かるには理由があります。

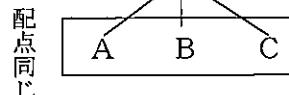
① 目標正解率

____% 教養択一

特別区 48問→40問選択

____% 専門択一

55問→40問選択



② 10割・7割・5割の法則

*あきらめず粘り強く・・・ の科目

*バランス (科目ごとの学習時間、学習間隔など)

・毎日

・一日おき

・二～三日おき

③ 公務員試験は誰でも合格できる4つの理由

1.

2.

3.

4.

今からできる面接対策

■印象 *印象で9割決まるといってよいほど重要

顔 元気、明るい、穏やか・・・笑顔

声 大きい、ハキハキ、トーン・発声練習

反応 今の自分よりも少し速く・・しっかり聞く

■わかりやすく伝える

■最近関心のあること

半分の勉強時間で受かるのに!

EYE'S METHOD
EYE'S メソッド



普通2000時間かかるところを 1000時間で受からせる方法とは?

本日の講義で話す内容は、EYEの合格者一人ひとりがあみ出し、実践し、証明してきたことばかりです。効率よく合格できるメソッドを具体的に理解することで、自己合格率は格段に上がります。さあ、この講義で学んだ合格メソッドを今すぐ自分に適用してみましょう。

POINT 1 <スタート>やみくもに勉強は始まない

何のノハラもメソッドもなくなる勉強を始めたてただだ時間が無駄に過ぎていくだけ。公務員試験には大学入試や資格試験の勉強と重なるノハラもあれば全く重ならないノハラもある。問題はその独自の方法を採用してマスターした上で勉強を実行すること。

【解説】ノハラの不完全一覧



POINT 2 短期合格メソッドがわかったら、合格体験記を読みあさる。

合格の勉強法がわかった後であれば、何十人の合格体験記を読んで自分にとって合意的な部分と不合意な部分を理解して離別できる。そこだけ浮き出る部分に注目するから不思議な感覚だ。

【解説】100人中80人は同じ方法

実は100人中80人は全く同じ方法を実行している

短期合格で合格できるか、採用試験かかるかは、いつその方法に気付くかである。

1年やっと2年やっとそもそも方法に気が付かない人は結果合格できず公務員試験から離脱していく。

POINT 3 併願プランを考える

実際、公務員試験を決意した後でも第1志望はもとより併願先も考えられてないことが多い。しかしモチベーションからみても、これからの合格比(メリハリ)からしても、一日も早く第1志望先と併願先候補をつづきめていくべきだ。

【解説】併願プランは2つの方法から決める

i 第1志望先は純粹に決めてみる。

私たちちは勉強する以上、複数合格をめざします。

ii そのための併願作戦。

これなくして公務員試験の<正解>は得られないのです。

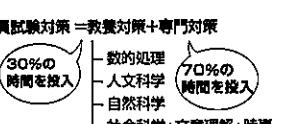
POINT 4 教養と専門の時間投入バランスを考える

多くの公務員受験生は公務員対応+専門的処理+専門対策中心と考えている。これもまた選択によって部合のいいことだ。なぜならPOINT3であげた特殊法人や厚生省の1次試験は教養試験と論文だけというパターンが多い。ということは一般的な公務員受験生より少しだけ教養対策を余計にやっておけば1次試験は地方上級、国家一般級以上にラクラクと合格できるというわけだ。

【解説】公務員試験対策は専門対策にあらず。教養試験重視戦略をとれ!

公務員試験対策≠専門的処理+専門対策

公務員試験対策=教養対策+専門対策



POINT 5 最初の1ヵ月はから始めるのか、何をやってはならないのか

1科目ずつ集中して勉強しようとする人がいる。1科目ずつ集中して教えるようとする公務員がある。多くの合格者は否定するはずだ。そんな勉強法。それで何から始めるのが良いのか、論的処理、経済原論、憲法、世界史の4科目である。但し(i)出題が多い(ii)難易度が高い(iii)他の科目的前提知識となるのが大きいところである。

【解説】1科目集中主義はアウト

●論的処理→判断推論→論的推論→空間把握→資料解釈

●経済原論→マイクロ・消費・生産・市場

　　└マクロ・行政法→経済政策→経済事情

●憲法→行政法

●世界史→政治学→国際関係

　　└地理

【解説】1科目集中主義はアウト

上記以外の科目をまざやうとすることは合格のセオリーから足を踏みはずすことを意味する(たとえば行政法からスタートとか)。また、論的処理1科目に集中するとか経済に集中するとか、頭から止めてほしい。そんなことをしたら1回試験を休んだだけで大きくてモチベーションダウンを招く。もう1回書く。頑張らなくて止めてほしい。

ここがポイント!!!

お騒ぎですか、
1科目集中主義形式を
今すぐ止めてください。
これを読んでいる一部の大手校の経営者の方、大学内公務員講座責任者の方、どうかお騒ぎです。1科目集中主義形式を今すぐ止めてください。受験生はもちろんこの勉強スケジュールを今すぐ止めてください!

